

湖西市 なぎさ保育園

園長 高柳 陽子先生

今回、西部地区は湖西市出入にあります、「なぎさ保育園」を訪問させて頂きました。なぎさ保育園は、社会福祉法人天童厚生会の施設で、昭和五十三年に開設し、今年で四十一年目を迎える、湖西市内で最初に建った私立



の保育園です。定員は、九十名

です。保育園周辺の立地は、漁港が近く港町の雰囲気を感じる丘の上にあります、山に囲

まれた自然豊かな、とても素敵な場所でした。日々の保育の中で取り組んでいる『感性豊かに「生きる力」をそなえた子どもを育てる為』を理念に、特色ある活動をされています。その中で特にサッカーは、専門コーチの指導のもと、他園との交流を含めた試合を体験しています。

また、自然活動にも力をいれており、厚生会バスを利用し、園外へ出かけたり、サンクチュアリジャパンと協力し、海ガメ放流や園周辺の自然を生かして野鳥観察を行うなど、

普段の生活の中では味わえないような体験をされています。海が近い事もあり、園にはカニが遊びに来るそうです。園庭にはいろいろな種類の木々が植えられ、四季を感じるこ



とができます。

今年のは、ハナミズキに、鳥が巣を作り、ヒナがかえりました。

そして、絵本と給食のコラボレーションを実施しており、絵本と繋がりがあ

る食を提供すること、子どもたちがより食事に興味を持てるようにしていただきました。

園長先生との取材の中で、卒園児との関わりについてもお話しを聞かせて頂きました。

タイムカプセルを実施しており、卒園後六年たつと園に集まり、タイムカプセルを開いて、当時を懐かしむなど、とても心温まる活動をされていました。また、新一年生とは、年長の時、味噌作りを行い、その味噌で毎年、豚汁や肉みそうどん等を作りみんなで味わっているそうです。それもまた、素晴らしい取り組みをされていると思いました。

保護者の中にも卒園児が多くいて、そのお子さんがまた園を利用して下さっている現状を見ると、とても暖かい家庭的な雰囲気を感じられました。

発表会を控えたお忙しい中、快く取材を受けて頂き、園長先生はじめとする職員の皆様には心よりお礼申し上げます。有難うございました。

